

令和4年度 学校関係者評価報告書

学校法人モン・カルカ学園 緑ヶ丘幼稚園

1. 本園の教育目標

- 子どもひとりひとりの個性を認め、寄り添い客観的に見守りながら成長を促す。
- 子どもに関わり過ぎない態度も必要とする。
- 子どもの発見や発想を大切に、保護者も子どもと同じ目の高さに立ち、共感することで意欲を高める

2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

本園の教育目標に照らし合わせての保育の実践。環境の変化により計画通りに進まなかった時にも臨機応変に対応し、子どもの成長を促すことを第一に考える。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(評価 A:達成している B:一部達成している C:一部改善を要する D:改善を要する)

評価内容	評価	評価の理由や取り組み内容
安全管理	A	最近の子ども達を取り巻く社会情勢を踏まえ、園内の出入りや目の届かない場所を極力なくすよう防犯カメラを設置した。また、雨の日など滑りやすかった玄関前を改修し、子どものけが防止軽減を図った。
気になる子を含めたクラス・学年運営	B	特別支援児について、担任と副担任との連携を強化し支援にあたることで、どちらか一人の教諭が指導法などで悩みなどを抱え込むことが無いように配慮した。学年間においても抱える疑問や悩みを共有することで、年間を通したスムーズな運営方法に至った。
保護者への情報発信	A	感染症対策の為、保護者は平時に自由に園内へ立ち入ることができなかった為 ICT 化で導入したツールを用いて日々の情報発信に力を入れると共に、個別に対応する場面では電話や連絡帳といった方法でコミュニケーションをとり、保護者の不安の軽減を図った。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価	評価理由
B	本年度設定した目標については、概ね達成することができたようではある。次年度以降もその内容については常に検討し、深めていくことが望まれる。

5. 今後取り組む課題

課題	取り組み方法
地域との関わり 体験活動	少しずつコロナ以前の生活に戻りつつある社会活動に従って、保護者をはじめ地域の方々との交流機会の時間を多く取り入れ、子どもたちの体験活動へと繋げることで心や身体の発育の成長へと促すよう努めていきたい

6. 学校関係者評価委員の総合的評価

年間を通しコロナ禍の中であっても、保護者の保育参加を促していたことについては、様々な意見はあるものの、好感が持てたという意見が殆どであった。次年度からはコロナ以前に行われていたような貴園の保護者と子ども一体となった多くの行事を通して、子ども達が毎日楽しく園生活を送れるような幼稚園運営を目指していかれることを期待します。